

# 1. 地元密着型の子育て支援の推進

## ① 保育サービスの充実

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学前児童支援	一時保育の推進	児童を養育している保護者の冠婚葬祭、急用及び通院等のやむを得ない事情に対応するため、児童を保育所（さくら保育園、西保育園、高山保育園、蛭川保育園）で受け入れ、保護者を支援する。
就学前児童支援	延長保育の推進	現在、保護者の就労形態の多様化等に対応するため、午前7時から午後7時まで延長保育を実施しているが、今後、就労形態のさらなる多様化に対応するため、子どもの視点を重視しながら延長保育を実施する。
就学前児童支援	休日保育の検討	就労形態の多様化により、日曜日及び休日に仕事を持つ保護者からの休日保育ニーズの増加に対応するため、子どもとのふれあいを大切にする視点を基本に保育所での実施を検討する。
就学前児童支援	小鳩保育園の民営化の検討	中津川市児童健全育成計画に基づく「中津川保育園整備計画」の趣旨から小鳩保育園を改修し、民間委託を推進し、3歳未満児保育を拡充する。
就学前児童支援	中津川保育園の改築と総合機能化	増加する障害児の保育を拡充するため、小鳩保育園の障害児（定員15名）保育を中津川保育園へ移設拡充する。あわせて、地域子育て支援センターを設置し、在宅児の保護者の子育て支援及び関係機関の相談・指導の役割を果たす。
就学前児童支援	低年齢児保育の推進	3歳未満児を公・私立保育所で受け入れる。
就学前児童支援	特定保育（必要に応じた週数日）の検討	保護者の就労形態の多様化に伴う保育ニーズの変化に対応するための特定保育事業（3歳未満児を対象に週2、3日程度、又は午前か午後のみ必要に応じて保育所等において行う事業）について、法人保育所での実施を検討する。
就学前児童支援	乳児保育の推進	0歳児を公・私立保育所で受け入れる。

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
継続 状況に応じて公立でも 検討し拡充	か所数 定員	6 か所 7 人	6 か所 10 人	幼児教育課
継続	か所数 利用延べ人数	17 か所 718 人	18 か所 750 人	幼児教育課
継続	—	—	事業開始	幼児教育課
継続	—	—	平成21年度 民営化の 方向決定	幼児教育課
継続	—	—	平成20年度 事業開始	幼児教育課
継続	待機児童数	0 人	0 人	幼児教育課
新規	—	—	事業開始	幼児教育課
継続	待機児童数	0 人	0 人	幼児教育課

事業項目	具体的施策		具体的施策の概要
就学前児童支援	保育園の運営	公立保育所運営事業	保育の実施が必要な児童について、効果的かつ効率的な子育て支援機能を果たすために、その運営に検討を加えながら、保育ニーズに応え保育する。
就学前児童支援		保育所環境整備事業	児童等の保育環境を確保するために、保育所の改築並びに毎年の修繕及び備品の整備を計画的に行う。特に、冷暖房機器の設置については優先度が高い部屋から順次整備を行う。
就学前児童支援		法人保育所運営事業	保育の実施が必要な児童の保育について、法人保育所と委託契約を締結し、効果的かつ効率的な法人保育所運営事業を行う。
就学前児童支援	幼稚園の長期休業中の保育の推進	夏休みはプール指導と預り保育、冬休み・春休みは預かり保育を実施する。	

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
継続	定員充足率 (%)	91.6%	92.0%	幼児教育課
継続	整備率	31.0%	80.0%	幼児教育課
継続	定員充足率 (%)	115.5%	100%	幼児教育課
拡充	預かり期間	長期休暇全 期間	長期休暇全 期間	幼稚園

## ② 子育て支援のネットワークづくり

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学前児童、就学児童支援	ファミリーサポートセンターの充実	育児・介護における地域相互援助活動を推進する。 会員交流会・会員講習会を開催する。 保育サポーターを養成する。 地域別制度説明会を開催する。
就学前児童支援	在宅親子の交流促進	子育て支援事業
就学前児童支援	在宅親子の交流促進	乳幼児支援事業
就学前児童支援	在宅親子の交流促進	未就園児親子（0～3歳）を園に招き、在園児との交流を図る。親の子育て能力向上の支援を行う。
就学前児童支援	在宅親子の交流促進	支援センター事業（月1回）、在宅児交流支援事業（月1回）、在宅障害児交流支援事業、子育て相談（随時）、主任児童委員研修協力（2園で月3回）、おしゃべり広場実施（2園で月1回）、保育サポーター養成講座講師派遣（年1回）。
就学児童支援	子ども向け情報誌の発行	子ども向け情報誌を発行。 ①「ら・ら・L A・キッズ」（年3回発行） ②「キッズ・ライフ・ガイド」（毎月発行） ホームページにより情報提供をする。
就学前児童、就学児童支援	地区広報誌による子育て情報提供	月1回発行する総合事務所・公民館通信「さかしたタイムズ」で子育ての情報提供を行う。
就学前児童支援	子育てグループの活動支援	子育て経験のある女性をサポート会員として登録し、利用会員の様々なニーズに応える子育て支援を行う。あわせて、保護者の学習機会や就業機会を創出する。
就学児童支援		ほほえみくらぶ 小学校1年～6年生と中学校1年生の親が中心となって、子育ての悩み、子どもとの遊びなどについて親子で学ぶ。
就学前児童支援		妊婦OB会・子育てグループ。 育児学級。

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
拡充	会員数 年間利用件数	636人 2,352件	1,150人 4,300件	工業振興課
継続	1か月あたりの活動回数	公立1～2回 法人1～3回	1～2回 1～3回	幼稚園
継続	実施事業数	7事業	継続	保育園
継続	発行部数	①18,000部 ②69,600部	22,000部 75,000部	少年センター
継続	発行回数	毎月1回 平成17年 12月～	毎月1回	坂下文化スポーツ課
継続	利用会員数 サポート会員数	36人 32人	30人 30人	子育て支援室
継続	開催回数	25回	25回	坂本コミュニティセンター
拡充	参加者数	901人 74人	900人 200人	健康医療課

事業項目	具体的施策		具体的施策の概要
就学前児童支援	子育てグループの活動支援	子育てボランティア	乳児期子育て講演会やクリスマス会などの時に託児を委託。
就学前児童支援		子育てボランティア支援	乳幼児託児ボランティアの育成。
就学前児童支援			読み聞かせサークル「あおむしくん」の支援を行う。
就学前児童支援		生き生き母さん活動事業	保護者が中心にサークル活動をする。劇やコーラス等を誕生会で披露。読み聞かせやおしゃべりタイム、ソフトバレエ、子育て交流など楽しみながら子育てをする。園と一緒に活動していくボランティアの育成を図る。
就学児童支援		託児ボランティア	保護者の学習会への参加を支援する託児ボランティアの育成を図る。
就学前児童支援	子育てサロン活動の推進	トドラーズクラブ	未就園児の親子で、遊んだり体操したり、子育ての悩みなどを話し合い、交流を深める。
		ほほえみサロン「キャロットクラブ」	0～3歳児を持つ親が、子育ての悩みや毎日の生活などについて話し合い、交流を深める。
		わくわく交流会	付知町と加子母の乳幼児をもつ保護者の交流会を開催する。
		公民館教室の開催	就園前の親子を対象に、「親子リトミック」教室を実施。リトミックを通じて、親子でふれあうことの大切さと、親同士の仲間作りを支援する。
		子育てサロンと乳幼児学級	「キッズクラブ」の開催 0～3歳児を持つ親が、週1回、地域の人とふれあう場を提供する。子育ての悩みや毎日の生活などについて話し合ったり、子どもを遊ばせたりしながら親同士の交流を深める。託児ボランティアの協力を得て、月1回は子育てについての学習会を開催する。

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
継続	活動回数	2回 会員14人	2回	福岡文化スポーツ課
継続	活動回数	年5回 会員9名	年10回	坂下文化スポーツ課
継続	活動回数	あおむしくん 年10回 自主活動週1回 会員12名	年12回	坂下文化スポーツ課
継続	サークル数	6団体	6団体	幼稚園
継続	—	年2回	年3回	蛭川文化スポーツ課
継続	開催回数	8回	12回	中央公民館
継続	開催回数	20回	36回	坂本コミュニティセンター（主任児童委員）
継続	年間実施回数	年1回	年1回	付知文化スポーツ課 加子母文化スポーツ課
継続	実施回数	年12回	年12回	福岡文化スポーツ課
新規	開催回数	36回	40回	落合コミュニティセンター

事業項目	具体的施策の概要	
就学前児童支援	子育て支援事業	主任児童委員を中心に、子育てや子どもの遊び・悩みについて相談に応じる事業、子育てサロンを実施する。
	げんきっこクラブ	入園前の親子を対象に、相談、情報提供による子育て支援、子どもの遊び場、障害の早期発見・療育を目的とした親子のつどいの場「げんきっこクラブ」事業を実施する。（生活福祉課すこやか子どもセンターと坂下保育園共催。文化スポーツ課 乳幼児学級とも交流、情報交換）
	清流白川子育てネットワーク交流会	東白川村、白川町と加子母の乳幼児をもつ保護者の交流会を開催する。
	乳幼児学級	0～3歳児を持つ親のための学級。親同士の仲間づくりを支援し、子育てについて学び、子育ての不安や悩みの解消に努める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほほえみ教室（坂下）</li> <li>・わくわく広場（阿木）</li> <li>・はじめの一步（生涯学習課）</li> </ul>
	乳幼児子育てサロン	「ぴっころ」の開催 未就園児の親を対象とし、親子での遊びや講師を招いての学習会を計画している。多様な活動をするなかで参加者同士交流を深め、子育ての不安、悩みを解消し、子育てに伴う親の負担を軽減する。

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
継続	開催回数	24回	24回	坂本コミュニティセンター
継続	実施回数	月1回	月2回	坂下生活福祉課・保育園 (坂下文化スポーツ課)
継続	実施回数	年1回	年1回	加子母文化スポーツ課
継続	開催回数	年24回 年10回 年11回 年10回 年12回 年22回 週2回 年1回	年24回 年10回 年11回 年11回 年12回 年24回 週2回 年3回	付知文化スポーツ課 福岡文化スポーツ課 川上文化スポーツ課 蛭川文化スポーツ課 加子母文化スポーツ課 坂下文化スポーツ課 阿木コミュニティセンター 生涯学習課
継続	開催回数	20回	24回	苗木コミュニティセンター

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学前児童、就学児童支援	子育て支援ガイドの作成	子育てに関する地域のさまざまな情報を、冊子にまとめて提供する。
就学前児童支援	子育て相談	保育園、幼稚園で、発達の遅れやアンバランスさが気になる子どもの理解と支援について、専門家を交えた相談の場をもち、園と保護者が共同で子育てする方向を探る。
就学前児童支援	子育て支援事業	未就園児親子を対象に年齢別あそびの広場を行い、同年齢の親子のふれあいをとおして、子育てにつまずいたり悩んだりする親への支援へとつなぐ。
就学前児童支援	地域子育て支援センター事業の充実	一色保育園、坂本保育園、福岡子育て支援センターを開放し、在宅の親子（0～2歳児）に遊びの場、交流の場を提供し、また子育て情報の提供と育児支援を行う。
就学前児童支援	保育園、幼稚園の地域交流活動の推進	保育園、幼稚園の有する専門的機能を地域の子育て家庭に提供し、地域住民（特に高齢者）との交流を深めるため、その機能を活用する事業を実施する。
就学前児童支援	母親になった会	母親の仲間づくりの支援。子どもの発達と、乳幼児の生活づくりについて学習し、育児不安を軽減する。
就学前児童支援	ブックスタート	子どもに絵本を読み聞かせることの大切さを親に教え、親子でふれあい、絆を確かなものにするための子育て支援を行う。

今後の方向	項目	現状	目標	担当課
			21年度	
新規	—	—	平成18年度 作成	子育て支援室
新規	相談人数	—	46回	子育て支援室
継続	実施回数の実施	月2回	月2回	健康医療課 発達支援センター
継続	子育て相談件数	565件	600件	子育て支援室
継続	行事参加園児数	1,800人	1,800人	保育園 幼稚園
継続	実施回数	年4回	年4回	健康医療課
継続	実施回数 保健センター 総合事務所	年24回 年18回	年24回 年18回	健康医療課